



メソッド/イベントルーティング

メソッドベースまたはイベントベースのルーティングのウィンドウを使用して、SIP プロキシサーバを設定し、SIP メッセージを内容に応じてルーティングします。

メソッド/イベント ルートの検索

ネットワークに複数のメソッド/イベントベースのルートが存在する場合があります。Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のメソッド/イベントベースのルートを検索することができます。特定のメソッド/イベントベースのルートを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence] >[プロキシサーバ]>[メソッド/イベントルーティング]の順に選択します。

[メソッド/イベントベースルーティングの検索と一覧表示 (Find and List Method/Event-Based Routing Entries)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.13-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

メソッド/イベントベースのルートの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースでメソッド/イベントベースのルートを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- メソッド/イベントベースのルートを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [メソッド/イベントルーティング] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- メソッド/イベントベースのルートを更新するには、P.13-1 の「メソッド/イベントルートの検索」の手順に従いルートを検索します。

[メソッド/イベントベースルーティングの設定 (Method/Event-Based Routing Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 13-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存してスタティック ルートをデータベースに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

追加情報

P.13-5 の「関連項目」を参照してください。

メソッド/イベントベースのルートの設定値

表 13-1 で、メソッド/イベントベースのルートの設定値について説明します。関連する手順については、P.13-5 の「関連項目」を参照してください。

表 13-1 メソッド/イベントルートの設定値

| フィールド | 説明 |
|------------------------------|--|
| 名前 | このパラメータは、特定のメソッドベースまたはイベントベースのルートに関連付けられている名前を指定します。 |
| 説明 | このパラメータは、特定のメソッド/イベント ルートの説明を指定します。 |
| コンテンツトークン (Content Token) | このパラメータは、SIP メッセージのルーティングに使用するコンテンツ検索文字列を指定します。 PUBLISH や SUBSCRIBE などがその例です。 |
| コンテンツカテゴリ (Content Category) | このパラメータは、メソッドベースまたはイベントベースのいずれかのコンテンツ カテゴリを指定します。 |
| 着信先アドレス | このパラメータは、SIP メッセージの送信先となる、着信先 (ネクスト ホップ) のドメイン名または IP アドレスを指定します。 |
| 着信先ポート | このパラメータは、着信先 (ネクスト ホップ) のポート番号を指定します。 デフォルト ポート : 5060 |
| プロトコルタイプ (Protocol Type) | このパラメータは、SIP メッセージを転送する場合に使用するプロトコルタイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。 |

メソッド/イベント ルートの削除

この項では、メソッド/イベントベースのルートを削除する方法について説明します。

手順

- ステップ 1** P.13-1 の「メソッド/イベントルートの検索」の手順に従いメソッド/イベントルートを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するルートを選択します。
- ステップ 3** ルートを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします)。

メソッド/イベントルートが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。メソッド/イベントルートが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.13-5 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [メソッド/イベントルートの検索 \(P.13-1\)](#)
- [メソッド/イベントベースのルートの設定 \(P.13-3\)](#)
- [メソッド/イベントルートの削除 \(P.13-4\)](#)

